

## 税理士のひとりごと

税理士の佐藤です。皆さんは AI(人工知能)を活用していますか？

松本デジタル大臣は 27 日の参院本会議で、この日の答弁作成に生成 AI を使ったと明らかにしました。デジタル庁が開発した AI を活用した業務補助システムを利用し職員が答弁案を作成、大臣自身が最終確認し国会答弁に活用したそうです。国会の本会議で AI を使用した答弁は史上初めてとの事です。

さて、私も先日ある資料を数時間かけて熟読、ワープロでテキストに整理しましたが、確認と実験のため NotebookLM(学生・研究者、



を活用した業務補助システムを利用し職員が答弁案を作成、大臣自身が最終確認し国会答弁に活用したそうです。国会の本会議で AI を使用した答弁は史上初めてとの事です。

## 伝える

人間の日常は「仕事も生活もすべて人に伝える事でありたいです・・・」と冒頭に述べ本書(「伝えたいつもり」をなくす本、中山マコト著、総合法令出版)が始まります。

私たちの生活は TV や新聞、今風では SNS 等々発信された情報を受け取ります。生まれたばかりの赤ちゃんも必死に泣いて母親に何かを伝えようとします。つまり、私たちの生活は朝起きてから寝るまでの間、誰かに何かを伝えたいとの思いで成り立っているといっても過言ではないでしょう。

CMは企業が売りたい商品がこんなに素晴らしいとの刷り込みですし、オールドメディアは読者(視聴者)に自分たちの主張が正しい



何かを伝えようとします。つまり、私たちの生活は朝起きてから寝るまでの間、誰かに何かを伝えたいとの思いで成り立っているといっても過言ではないでしょう。

専門家向け AI)に「要約」を頼みます。すると数十秒で私が作成したテキストのクオリティを超える文書が作成され感心しました。

しかし、限られた時間の中で最大限の効果を求める人(ベテラン)と基礎知識を学ぶべき大切な時間を過ごしている人(学生や新入社員)では AI を活用した時間節約の意味に大きな違いがあると思います。

そういえば・・・学生時代、宿題の解答を教科書の解説本で丸写ししたのを思い出しました(笑)・・・当然ながら知識が身につかなかったな〜と、この歳(還暦越え)になって反省しています。自分自身でやれるとこまでやらず AI の答えの丸写しで結局困るのは自分自身です・・・

と他を非難しつつ発信します。また映画や絵画などの芸術作品にも作者の意図を伝えたいとの思いが込められています。

## 仕事では・・・

仕事では伝えたい情報が上司から部下、又は部下から上司に「正しく伝わらない」と業務が滞ります。

筆者は、まず「言わない事は聴こえない」、「相手に伝わって初めて、伝えたことになる」と言います。つまり、本人は「言った気=伝えたいつもり」になっているとしても伝わっていないければ意味がないのです。以前より経営者の話には「主語」が無い事が多いとお話した事があります。経営者の突然の「あれどーなった？」の質問に従業員が困惑する「あれ・・・」です。

つまり、そもそも「言っていない＝伝わっていない」事もありますし、実際には指示を出しているのに従業員が聞き逃している事もあるでしょう。

では仮に経営者が伝えた(指示を出した)とします。しかし、なぜそれが従業員には伝わらないのでしょうか？



筆者曰く、答えは簡単「自分に関係がない」指示だと認識し「その言葉の意図」が従業員の脳のセンサーに届かないからです。人間のセンサーは「自分に関心のないこと、関係のないこと」には作動しないようにできているようです。

### コミュニケーション

筆者曰く、一方的に自分の言いたいことを言う事はコミュニケーションではなく投げつけです。

つまり、スポーツに例えるとこれは一方的に人をめがけて投げる「ドッチボール」です。

正しく、意図を伝えるためには「キャッチボール」つまり、発言者の意図を「相手がきっちり受け止め」、相手がそれを「投げ返してくれて」、さらにそれを発言者が受取る(確認)。このプロセスが大事だと言います。

また、準備が出来ていないのにいきなりボールを投げつけられても後ろにそらすだけです。そのためには相手の関心をこちらに向ける必要があります。



### シンプル

人気のある政治家の言葉はシンプルと言います。例えば、小泉元首相は「自民党をぶっ壊す」とか「郵政を民営化する」とかいつも発言を「ワンフレーズに絞っていた」と筆者は言います。そう言えば・・・ねちゃねちゃ、だらだら～と話す政治家は確かに人気がないですね・・・。

コピーライティング(広告・宣伝のための技術)の世界では「ワンメッセージ、ワンマーケット、ワンアウトカム」という有名な言葉があるようです。つまり「一つの事を、一人の人に、一つの目的を持って書きなさい」という意味です。

「的確に意図が伝わる」ためには、シンプルに話す事が必要って事ですね！

**相手を説得する場合、激しい言葉をつかってはならぬ。  
結局は恨まれるだけで物事が成就できない (坂本 龍馬)**

編集後記：

読売新聞の社説で、国会答弁にAIを用いることについて「データを集めや点検をAIに任せ効率化する事には異論がない」しかし、「AIはインターネット上の既存の情報を学習した結果に基づき、文章を出力する仕組みにすぎない」、もし質問する側もAI、回答する側もAIとなるとAIが拾い上げた情報だけで国家運営がなされる可能性が排除できず、政治家、省庁、国会の不要論を招きかねないと指摘しています。

これは民間企業でも同様で、AIは前例がなければ答えを出せません。新しい発想を生み出せない経営者・社員ばかりになると存続が危ぶまれます。(寿)。